

令和6年11月29日

産 業 厚 生 委 員 会

阿久根市議会

1 会議名 産業厚生委員会

2 日時

(1) 期日 令和6年11月29日（金）

(2) 開会 午後2時11分

(3) 散会 午後2時24分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

竹之内 和 満 委員長、大 野 雅 子 副委員長、白 石 純 一 委 員、
大 田 基 次 委 員、竹 原 信 一 委 員、牟 田 学 委 員、
濱 田 洋 一 委 員

5 事務局職員

局長 新 塘 浩 二、議事係主任 松 林 俊 介

6 会議に付した事件

(1) 議案第53号の審査方法について

(2) 議案第57号の審査方法について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

竹之内和満委員長

ただいまから産業厚生委員会を開会します。

本委員会に付託された案件は、議案第53号、阿久根市子ども発達支援センターこじかの指定管理者の指定についてと、議案第57号、阿久根市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についての2件です。

この2件の審査は、会期日程のとおり、12月6日、9日に行う予定ですが、この予定日に開催する委員会において審査方法を協議した場合、審査方法によっては日程調整の期間が取れないことから、会期日程のとおり審査を行うことが難しくなると思われます。

したがいまして、あらかじめ審査方法について協議していただき、必要と決定された場合、会期内にその審査ができるように調整しようと考えています。

よって、本日は会期日程で予定しておりませんが、委員会を円滑に進行するためにこれらについて協議していただきます。

○ 議案第53号の審査方法について

竹之内和満委員長

それではまず、議案第53号を議題といたします。

こじかの指定管理者の指定ですね。

〔発言する者あり〕

ちょっと、内容に入ります。

この議題の審査方法について委員の皆様の御意見をお伺いいたします。

牟田学委員

子ども発達支援センターこじかの指定管理についてであります。本会議で、課長の説明で応募者は青陵会1者だけということでありまして、私はもうこのまま承認してもいいのかなと。

〔発言する者あり〕

資料というかですね、私は、今までずっと青陵会ができてきて何の問題もなかったと思っておりますので、議案のとおり私は賛成するものであります。

白石純一委員

長年やられてこられてるわけですけども、また新たな指定管理ということになりますので、募集要項とその応募書類は資料として提出いただき、中身を精査すべきものかと思います。かつ、もちろん所管課にも説明をいただきたいと思います。

竹原信一委員

もうしっかり私たちが理解せないかんわけですよ。そして、多分、現地調査もしたほうがいいんじゃないかと。現状を、まず皆さん、新しくなった議員もいるし、しっかり現状を把握する必要がありますので、ここでもう終わればいいじゃないかと、とんでもないことやらないでください。

濱田洋一委員

この議案第53号につきましては、これまでの指定管理をされていた青陵会から、1者の応募がありまして、審査の結果、また青陵会にお願いするというような状況になりました。

けど、先ほどの本会議の中でも、1者のみの応募であって、その年間の委託料ですか、それぞれ報告もありました。そして、スタッフの方々もどういう資格を持った方というのもありました。

そういった中におきまして、私としましては、これまでも青陵会にお願いして、特段、問題になると言いますか、適切な運営をされてきたという観点からもですね、執行部に来ていただいて、そこら辺の話もお聞きしながらですね、私はこの議案に対しては反対するつもりもございませんので、そういう方向で進めていただけたらと思います。

大野雅子委員

私はですね、今、今年やっぱり、入ったばかりで内容もよく分からないっていうのはあるので、もう1回やっぱりちゃんと書類を頂いて見てみたいと思います。

そしてまた、今、発達障害がどんどん増えていて、数も増えてるんですね。現地調査ができるんだったら、一緒に行って、その話も聞いてきたいなと思います。

産業厚生委員会はそちらのほうも見ていくべきだと思いますので、ちょうどいい機会なんじゃないかなと考えております。

竹之内和満委員長

大田委員、いかがでしょうか。

〔大田基次委員「ないですよ、何も」と呼ぶ〕

それではですね、いろいろ御意見ありました。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後2時16分～午後2時22分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

皆さん、御意見ございますでしょうか。

白石純一委員

審査の方法ですが、所管課として福祉課と企画推進課をお呼びすること。

そして、資料として、募集要項と応募書類、そして審査結果に関わる書類、委員の資料をお願いしたいと思います。

また、現地調査も可能であれば、お願いしたいと思います。

竹之内和満委員長

という意見ございました。皆さんいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしということで、それでは審査方法については、福祉課と企画推進課、2つの課を呼び、資料としては募集要項、応募資料、採点表を資料請求をする。

そして、できることなら社会福祉法人青陵会のところを現地調査に行きたいということで御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そういうふうにしたいと思います。

○ 議案第57号の審査方法について

竹之内和満委員長

続きまして、議案第57号を議題とします。

この議題の審査の有無について、委員の皆様の御意見をお伺いいたします。

窓口ゼロ負担というやつです。

竹原信一委員

担当課の説明をもう1回いただくということで、疑問があつたらまた皆さん質問するということでもよろしいんじゃないかと思うんですけども。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

竹之内和満委員長

異議なしでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかに意見ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら福祉課を呼んで説明をいただくと、そして質疑応答を行うという、そういう審査方法にいたします。

それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で今日の委員会は終わりにしますが、必要な調整及び次回の委員会の開催時間などについては、委員長に御一任をお願いいたします。

調整でき次第、皆様にお知らせします。

以上で、本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(散会 午後2時24分)

産業厚生委員会委員長 竹之内 和 満